

## ホタテへい死対策

水産総合研究所では、へい死対策として①異常高水温発生メカニズムの解明②水温観測ブイの養殖施設内への増設

# 未来を開く

青森産技センター報告

—35

ホタテガイ養殖が盛んな陸奥湾で近年、夏の異常高水温が頻発している。2010年には湾全体の約7割のホタテガイが異常高水温でへい死した。

# 気温解析で水温予測

その結果、異常高水温となつた12、13年、へい死は約2割にとどまった。ホタテガイ養殖では異常高水温時のみならず、通常の年であっても、地区別・水深別の水温に応じて、養殖施設の水深調整や稚貝採取・出荷作業などの調整を行う必要がある。このため、へい死対策の中でも養殖施設設置場所の水温の状況や、水温予測が非常に重要になる。

11年から、過去の傾向を解

による監視体制の強化③水温予測モデルの開発④ホタテガイのへい死メカニズムの解明⑤異常高水温時の養殖管理手法の見直しーに取り組んだ。

析して水温を予測する「経験的モデル」の開発に取り組んだ。同モデルは1ヶ月先でも比較的安定した精度で予測できる。12年春にほぼ完成し、

## PC、スマホで閲覧可能

一方で、猛暑などの異常気象時に誤差が大きくなるという課題も。そこで14年から、

気象庁の予報などを取り入れた新たなモデル「気象モデル」の開発を進め、予測精度を向上させることに成功した。同モ

デルは水温の前に変化する気温を使うシステムで、週間予報などを想定して、水温を予測する。これにより、これまでに経験がない猛暑時の予測精度が向上した。



海の総合サイト  
「海ナビ@あおもり」上の水温予測

(水産総合研究所漁場環境部  
高坂祐樹)

今後、衛星観測、データの活用などにより、予測精度のさらなる向上を目指していく。

この二つのモデルそれぞれの長所を生かして、さらに高精度で予測値を自動計算するシステムを開発した。これは水深や予測期間ごとに応じて、使用するモデルを選択するプログラムで、当研究所の海の総合サイト「海ナビ@あおもり」のサーバーに搭載。サイトではブイで観測した水温などとともに、最新の予測水温をパソコンやスマートフォンで誰でも閲覧できる。